

中央砕石：事業承継を経て更なる発展を目指す

- ・ 「社内メンバーの思いを反映させた」中期経営計画の策定
- ・ 新社長のもとで中期経営計画を修正
- ・ 企業としてさらなる飛躍を実現

お話を伺った人

企業情報 中央砕石 株式会社

代表者名 : 山本 侑輝 様

所在地 : 大阪府高槻市 創業 : 1958年3月

資本金 : 1,000万円 従業員数 : 61名

事業内容 : 砕石製造業

担当コンサルタント : 小西



～「社内メンバーの思いを反映させた」中期経営計画の策定～

—中央砕石株式会社の事業概要をお聞かせください—

山本社長：当社は、大阪府内で砕石製造業を展開しています。主に生コンクリート製造に使用する砕石や砕砂の供給を手掛けていますが、それにとどまらず、「プラス事業部（※1）」や「ロックレイ（※2）」

といった新たな事業分野にも積極的に取り組んでいます。

（※1）特殊プレミックスモルタル製品、各種土のうサービスの取扱いなど

（※2）脱水ケーキをリサイクルして製造した遮水材



当社の砕石プラント

—貴社の強みや他社との差別化ポイントについて教えてください—

山本社長：同業他社と比較して、商品数の多さが強みと考えています。既存の事業をしっかりと安定させると同時に、新しい分野への挑戦を続けています。新製品の開発にも注力しており、砕砂を製造する製法に対する特許を取得しています。考える力は当社の強みと思っています。

—過去に当社以外で中期経営計画を策定されたと伺っています—

山本社長：以前に大手コンサルティング会社に関与して中期経営計画を策定したことがありますが、いろいろ資料を渡したら、全部作って返してくれたといった感じでした。分厚い計画書でしたが、自分事にはなっていないなと感じていました。そのため、メインバンクの南都銀行に相談し、南都コンサル



中期経営計画の進捗を全員で共有している様子

ルティングの小西さんを紹介いただきました。南都コンサルティングの協力のもと、社員の意見を反映しつつ、一緒に中期経営計画を策定してもらいました。プロジェクトメンバーの幹部社員にも、自分たちが作った計画なので、頑張っていこうという意識が芽生えていると思っています。

～新社長のもとで中期経営計画を修正～

—山本社長は2023年1月に就任されています。ご就任後、特にどのようなことを心がけてきたのでしょうか？また、その過程で南都コンサルティングのサポートはいかがでしたか？—

山本社長：心がけてきたことは、社員一人一人の個性を活かして、会社を強くしていき、最終的に社員への還元と、社員が働きがいを得られるにはどうすればいいかを絶えず考えることです。就任当初は、不安も大きかったですが、南都コンサルティングが伴走してくれたことは非常に助けになりました。不安に思っていることのヒアリングと具現化は、とてもありがたかったです。事業承継のタイミングで

分からないことを色々と伺いましたが、小西さんから、限られた時間の中で、考え方のさわりの部分や、骨子といった部分を教えていただいたのは良かったです。自分で勉強する際にも、あらすじを理解できていたので、やりやすいという部分はありました。

—社長就任にあわせて中期経営計画の修正に取り組みましたね—

山本社長：計画を策定するプロセスにおいて的確なアドバイスを提供してくれましたので、修正版の中期経営計画には自分の思い描く経営ビジョンが反映出来ました。南都コンサルティングの小西さんは計画策定の道筋で、自分たちにあわせた目線で話をしてくれたため、プロジェクトメンバーも自分たちの意見を言いやすかったと思います。

—現在の中期経営計画の進捗状況についてはどうお考えですか—

山本社長：いいと思いますね。現実的な修正目標をたてて、その目標をちゃんとクリアしています。来年ぐらいのところまで目標を達成している項目が多いんですよ。

～企業として更なる飛躍を実現～

—今後、どんな会社にしていきたいとお考えですか—

山本社長：「カッコいい会社」にしたいなと考えています。砕石製造業の中でも最先端の取り組みを行っていきたくて、自動化も積極的に取り入れていきたい。砕石製造業の埃っぽいイメージを払拭したい。そうすることが人材採用にも繋がると考えています。

—社長がお考えになる課題にはどのようなものがありますか—

山本社長：今後の課題としては、従業員の主体性をさらに引き出すことが挙げられます。私が幹部社員との接触にとどまりがちであるため、全社員としっかりコミュニケーションを図ることが必要だと感じています。また、福利厚生



当社の原石山

のさらなる充実や省人化のための投資を進め、従業員一人ひとりが自発的に活躍できる環境を整えていくことが、今後の重要な課題だと考えています。

—最後に南都コンサルティングへの評価や期待についてお聞かせ下さい—

山本社長：南都コンサルティングには、会議の進行やプロジェクトの進捗管理において、プロジェクトメンバーの能力をしっかりと補完し、それを効果的に活かすための具体的な提案をいただきたいです。私たちの会社では、各メンバーがそれぞれ異なるスキルや強みを持っていますが、それらをどのように結びつけ、チーム全体として最適なパフォーマンスを発揮できるかが重要です。そのため、個々の特性を理解した上で、それぞれの能力を最大限に引き出し、チーム全体が一丸となって目標を達成できるような提案を期待しています。

会議の進行に関しては、率直かつ建設的なフィードバックや、改善すべきポイントの指摘を行っていただけるとを特に望んでいます。単なる情報共有に留まらず、各メンバーが主体的に議論に参加し、建設的な意見交換ができるような場作りをサポートしていただきたいです。また、小西さんには、時には厳しい指摘をいただくと非常にありがたいです。

担当コンサルタントからのひとこと

中央砕石様との取り組みは、中期経営計画の策定や修正のご支援に留まらず、月次会議にも参加させていただいており、長いお付き合いをいただいています。経営幹部の皆さんは、中計で掲げたプロジェクトの実現に向けて、主体性を持って取り組んでおられますが、特に社長が交代された後は、より積極的に取り組まれているように感じます。

情報提供だけでなく、外部からの目線でアドバイスを行い、プロジェクトの優先順位の決定やプロジェクトの実行をサポートすることで、今後も中央砕石様の成長をご支援出来ればと考えています。